

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2023年診断症例—

医療機関名		独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	---	-----------------------

○基本情報

【令和5(2023)年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5		
病床数	550床(一般500床;精神50床)		
追加情報			
診療科数	34科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08	がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	13.0(日)		
入院患者数	13,584(人)		
外来患者延数	125,572(人)		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数(ケースファインド)	※調査方法は施設によって異なるため参考程度に捉えること		20,000(件)
院内がん登録件数	1,897(件)		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 0 / 他 0(名)		

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2023年診断症例の院内がん登録件数は1897件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く314件、次いで大腸(結腸・直腸)261件、前立腺226件であった。

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

男性: ①前立腺 226件 74.6歳 ②悪性血液疾患 179件 69.4歳 ③大腸 144件 73.3歳
女性: ①乳房 150件 64.1歳 ②悪性血液疾患 135件 67.4歳 ③大腸 117件 72.6歳

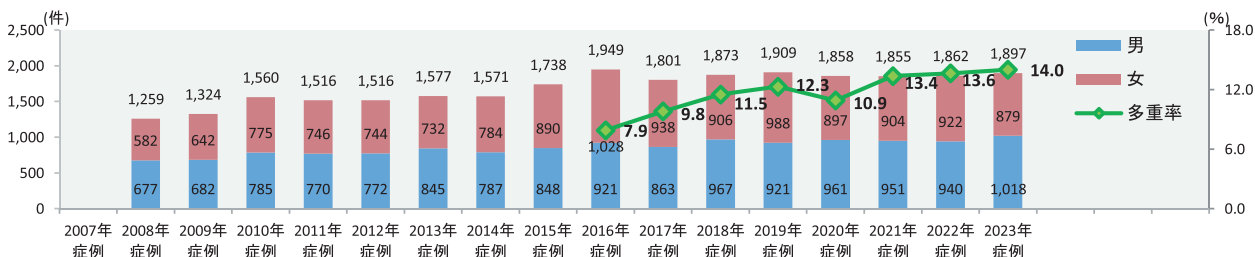
【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

1)『悪性血液疾患』日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実施している。また、2021年4月より小児の悪性血液疾患専門医が加わったことで、全世代に対応可能な診療体制が整った。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『前立腺』切除しない密封小線源治療(ブラキセラピー)を推進しており、2018年から全例にスペースOARシステムを導入し、放射線合併症防止にも努めている。また、2022年度より前立腺がん部分治療(Focal therapy)を本格的に開始している。

【熊本医療センターの特徴・役割】

精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医を有することで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

診断年別登録件数(参考)

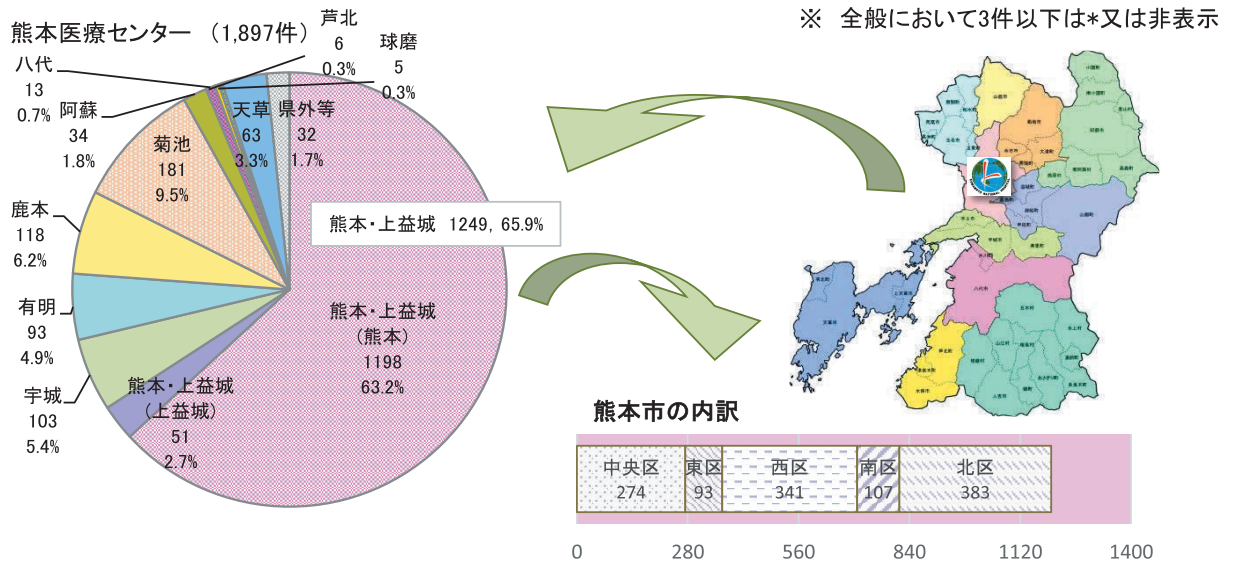


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2023年診断症例)

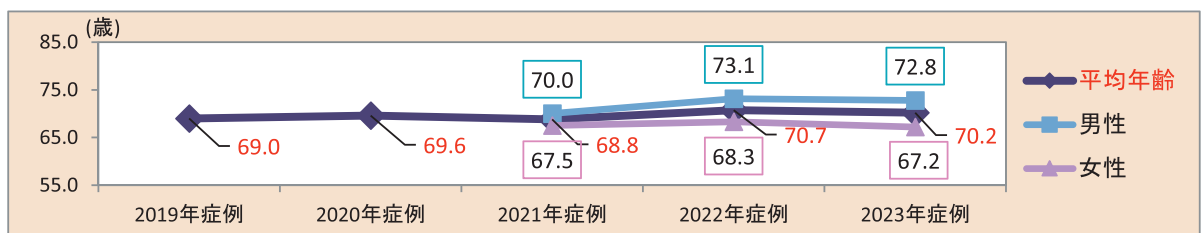


◇ 医療圏別上位5部位

医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊・上(熊本)	悪性血液	183	有明	大腸	15	阿蘇	悪性血液	7
	大腸	179		前立腺	14		大腸	4
	その他	128		悪性血液	14		子宮頸部	4
	前立腺	125		子宮頸部	9		膀胱	4
	乳房	112		その他	8		該当部位	各*
熊・上(上益城)	その他	11	熊本	悪性血液	20	八代	悪性血液	5
	前立腺	10		前立腺	19		該当部位	各*
	悪性血液	10		その他	13		悪性血液	5
	大腸	4		膀胱	12		該当部位	各*
	乳房	4		大腸	11		悪性血液	5
宇城	悪性血液	19	菊池	悪性血液	28	芦北	該当部位	各*
	大腸	17		膀胱	27		該当部位	各*
	その他	9		前立腺	24		該当部位	各*
	子宮体部	8		大腸	19		該当部位	各*
	該当部位	各7		その他	19		該当部位	各*

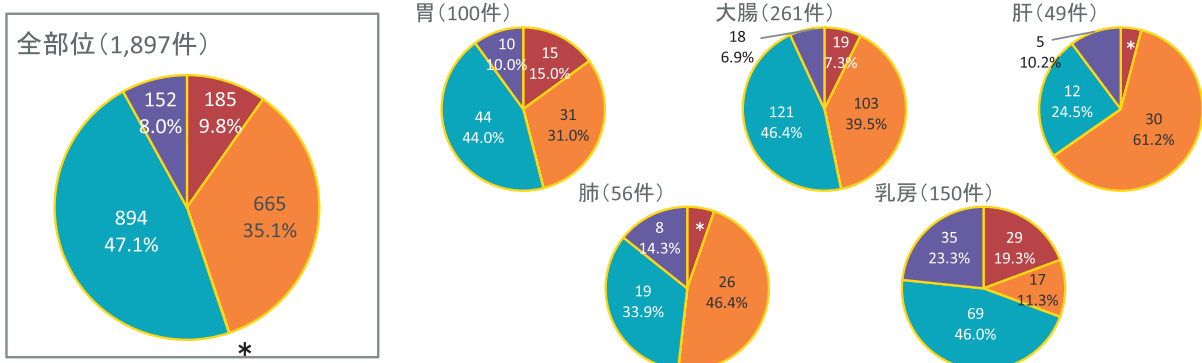
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計



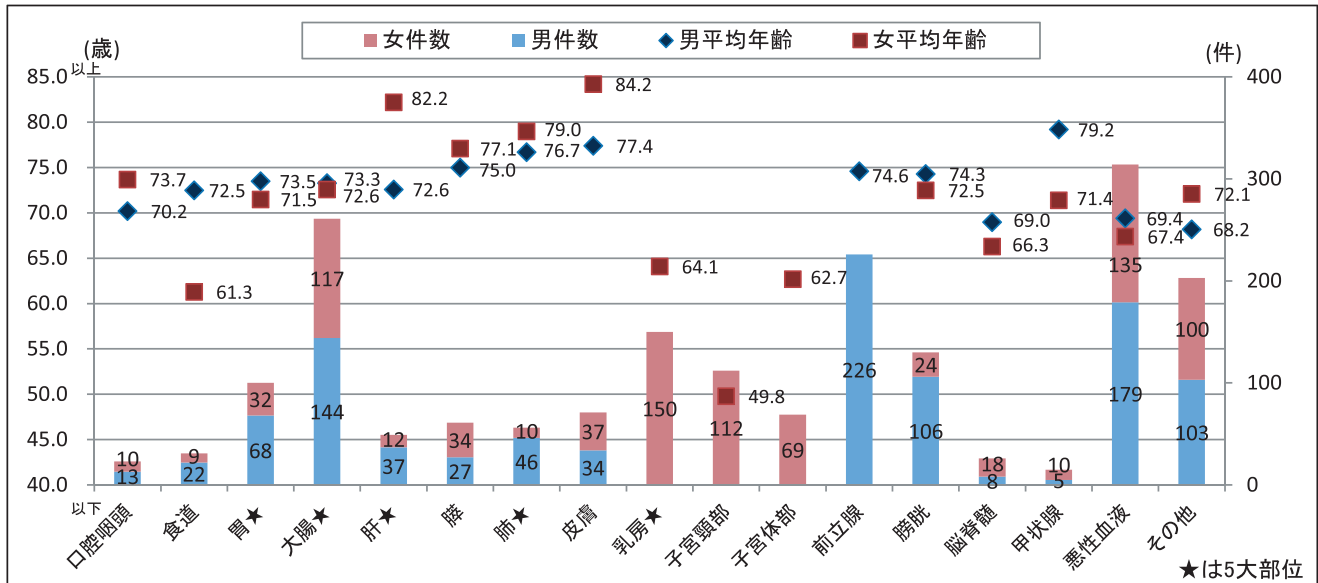
③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



熊本医療センター

④ 性別主要部位別件数と平均年齢



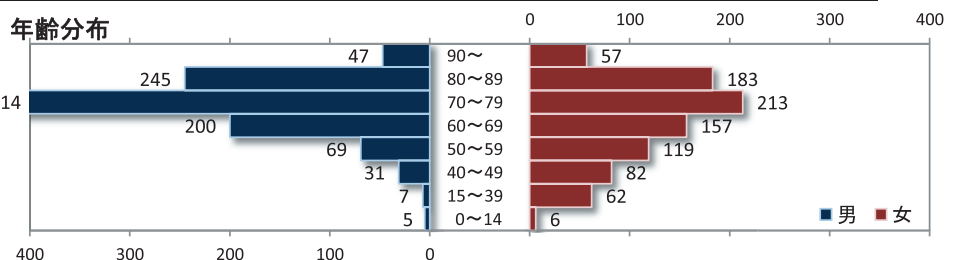
⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0~14歳		15~39歳		40~49歳		50~59歳		
前立腺	226	悪性血液 4	該当部位	各*	悪性血液	10	その他	13	
悪性血液	179	該当部位 *			その他	8	膀胱	12	
大腸	144				大腸	4	悪性血液	12	
膀胱	106				該当部位	各*	大腸	9	
その他	103						前立腺	8	
胃	68						など		
肺	46	計	5	計	7	計	31	計	69
肝	37	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
皮膚	34	前立腺	47	前立腺	115	前立腺	45	前立腺	11
膵	27	悪性血液	43	悪性血液	68	大腸	38	膀胱	9
食道	22	大腸	29	大腸	58	悪性血液	34	大腸	6
口腔咽頭	13	その他	16	その他	38	膀胱	31	皮膚	5
脳脊髄	8	膀胱	14	膀胱	37	その他	23	悪性血液	5
甲状腺	5	など		など		など		該当部位	各*
乳房		計	200	計	414	計	245	計	47
子宮頸部									
子宮体部									
計	1,018								



女性全体	0~14歳		15~39歳		40~49歳		50~59歳		
乳房	150	悪性血液 5	子宮頸部	35	子宮頸部	28	乳房	31	
悪性血液	135	該当部位 *	乳房	7	乳房	20	子宮頸部	22	
大腸	117		悪性血液	7	悪性血液	14	子宮体部	22	
子宮頸部	112		該当部位	各*	子宮体部	7	大腸	13	
その他	100				その他	5	その他	12	
子宮体部	69				該当部位	各*	など		
皮膚	37	計	6	計	62	計	82	計	119
膵	34	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
胃	32	乳房	35	悪性血液	37	悪性血液	39	皮膚	14
膀胱	24	大腸	29	乳房	35	その他	30	大腸	11
脳脊髄	18	子宮体部	17	大腸	35	大腸	25	その他	10
肝	12	悪性血液	17	その他	28	乳房	17	悪性血液	6
口腔咽頭	10	子宮頸部	14	膵	14	皮膚	12	乳房	5
肺	10	など		など		など		該当部位	各*
甲状腺	10	計	157	計	213	計	183	計	57
食道	9								
前立腺									
計	879								



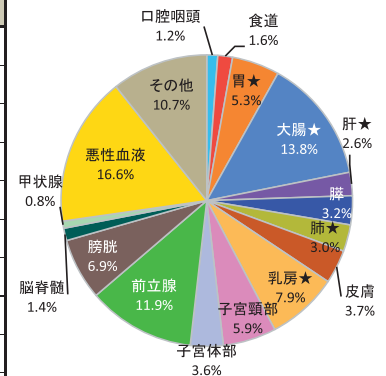
II 施設別統計

熊本医療センター

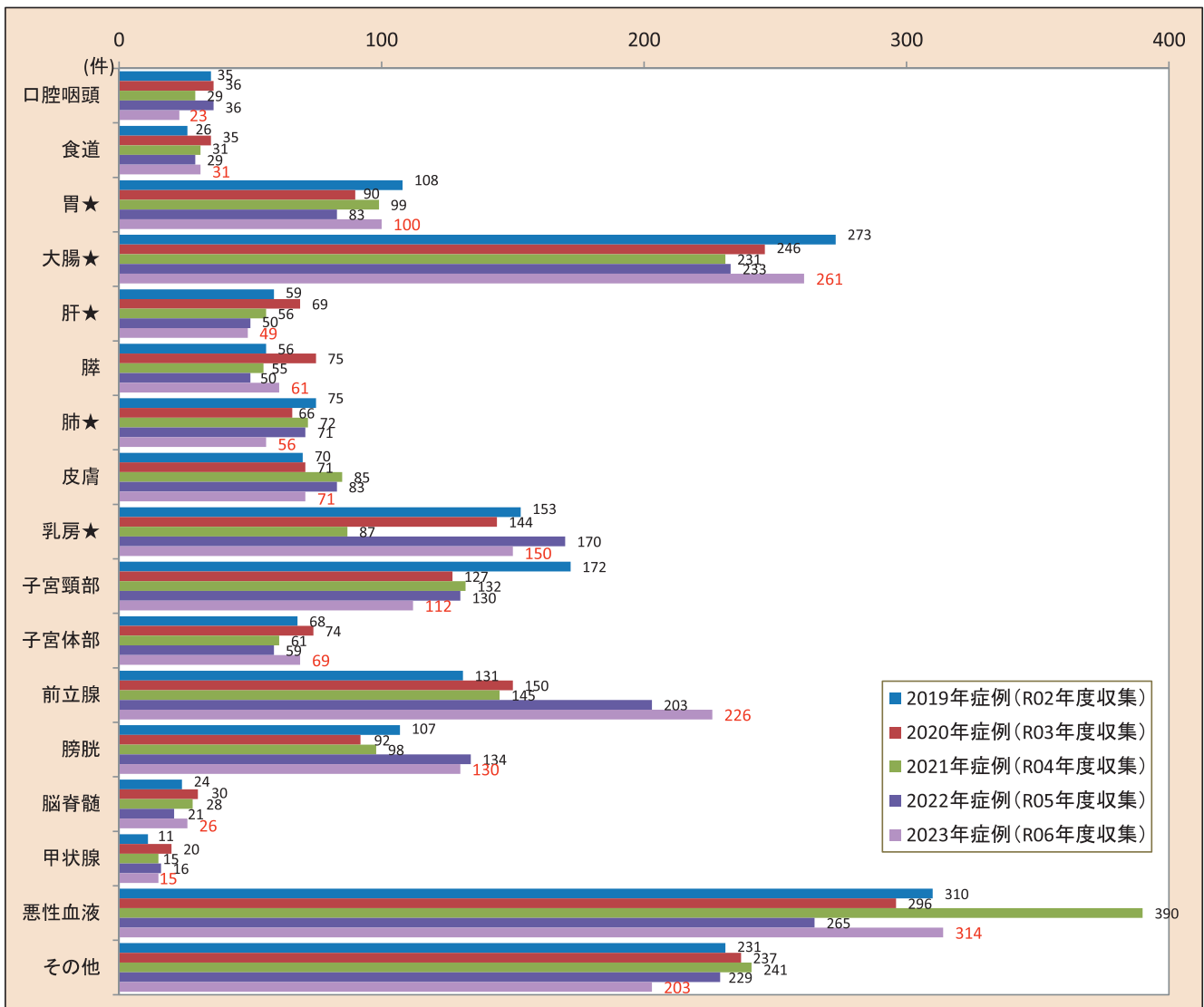
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2019年症例 (R02年度収集)	2020年症例 (R03年度収集)	2021年症例 (R04年度収集)	2022年症例 (R05年度収集)	2023年症例 (R06年度収集)
口腔咽頭	35	36	29	36	23
食道	26	35	31	29	31
胃★	108	90	99	83	100
大腸★	273	246	231	233	261
肝★	59	69	56	50	49
膵	56	75	55	50	61
肺★	75	66	72	71	56
皮膚	70	71	85	83	71
乳房★	153	144	87	170	150
子宮頸部	172	127	132	130	112
子宮体部	68	74	61	59	69
前立腺	131	150	145	203	226
膀胱	107	92	98	134	130
脳脊髄	24	30	28	21	26
甲状腺	11	20	15	16	15
悪性血液疾患	310	296	390	265	314
その他	231	237	241	229	203
計	1,909	1,858	1,855	1,862	1,897

2023年診断症例 主要部位別割合

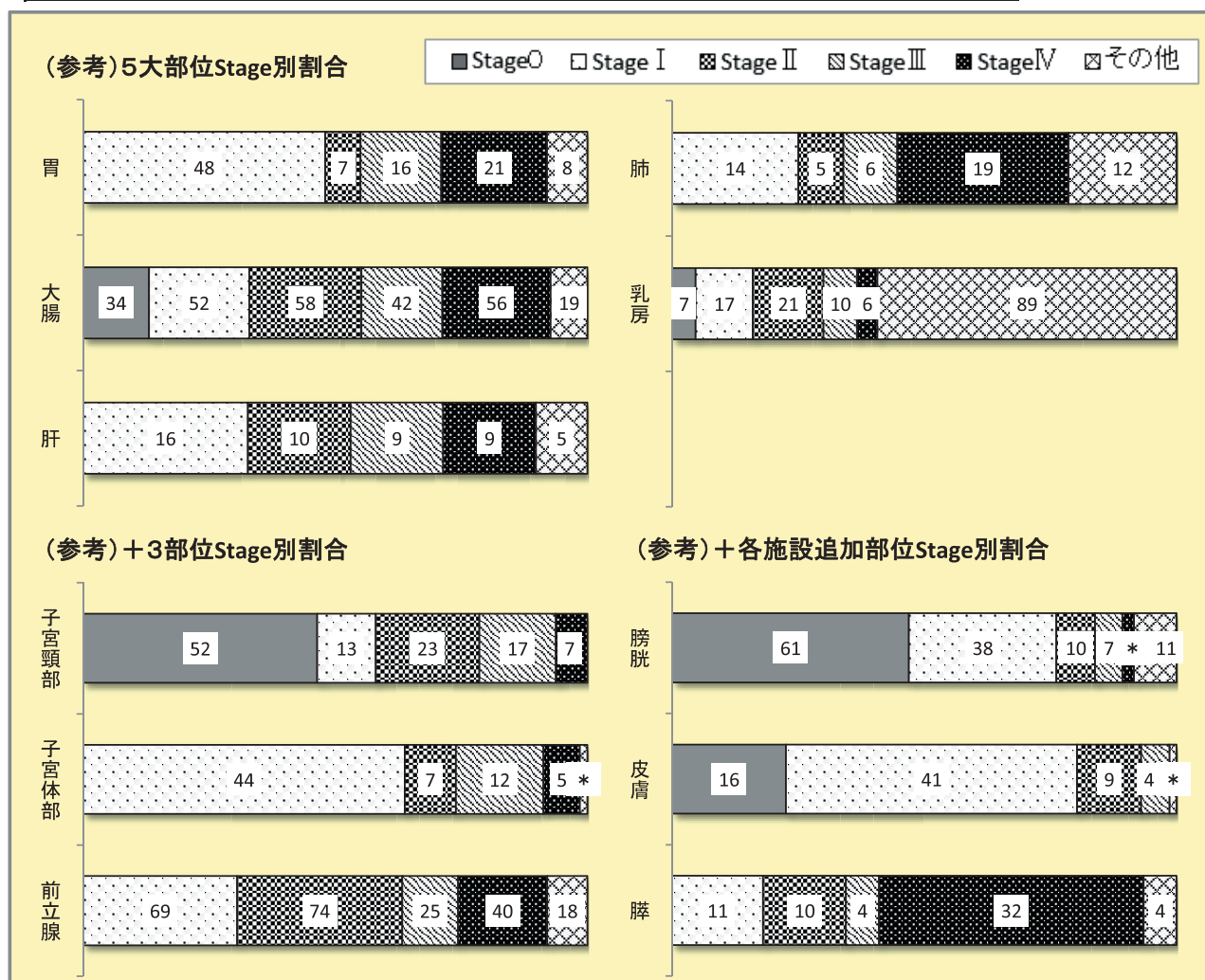


※大腸は結腸と直腸
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
 ※その他は分類にないもの全て(胆管、卵巣、骨軟部など)
 ※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
 ※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	23	6	4	5	*	5	*
食道	31	10	9	*	4	*	*
胃★	100		48	7	16	21	8
大腸★	261	34	52	58	42	56	19
肝★	49		16	10	9	9	5
膵	61		11	10	4	32	4
肺★	56		14	5	6	19	12
皮膚	71	16	41	9	4		*
乳房★	150	7	17	21	10	6	89
子宮頸部	112	52	13	23	17	7	
子宮体部	69		44	7	12	5	*
前立腺	226		69	74	25	40	18
膀胱	130	61	38	10	7	*	11
脳脊髄	26						26
甲状腺	15		7	*	*	*	*
悪性血液疾患	314		36	25	21	57	175
その他	203	7	72	13	37	29	45
計	1,897	193	491	282	216	293	422



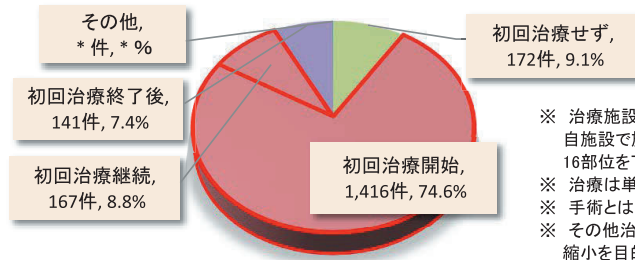
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

II 施設別統計

熊本医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

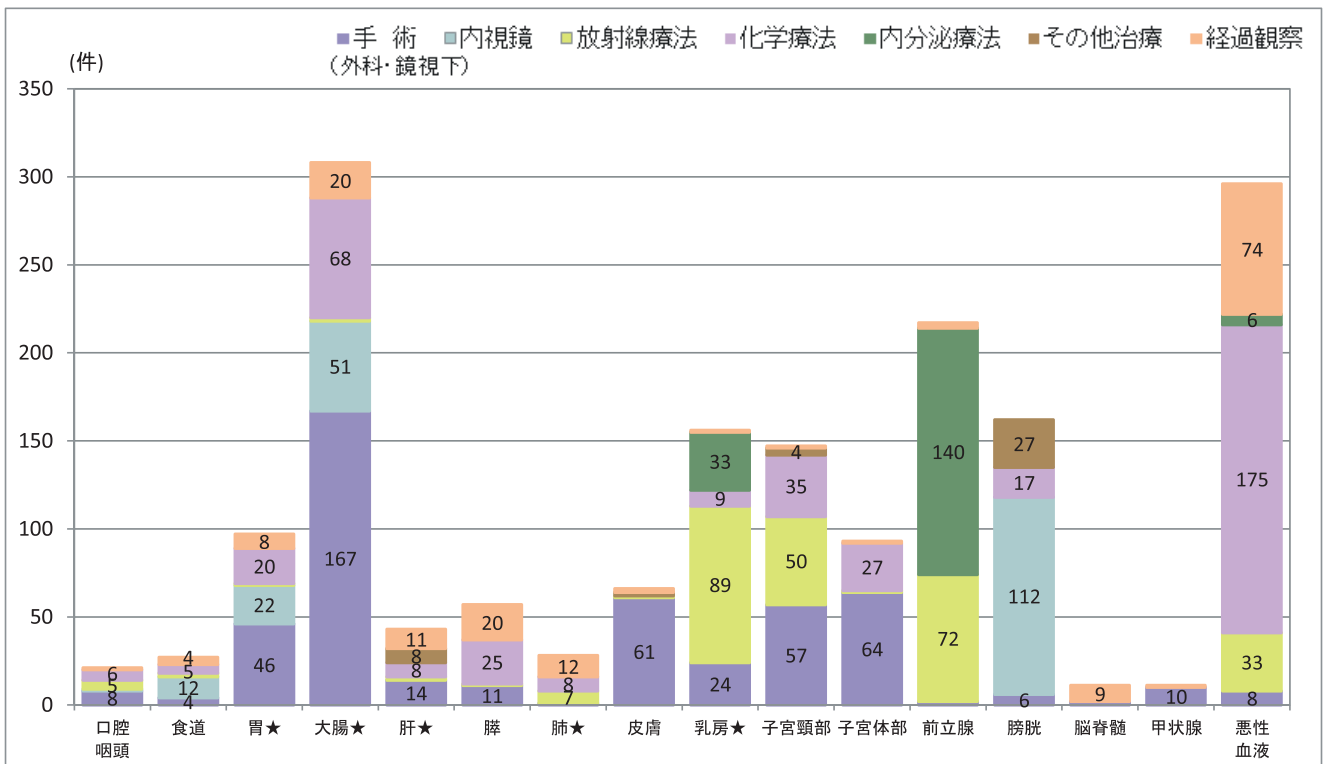
治療施設	件数
1初回治療せず	172
2初回治療開始	1,416
3初回治療継続	167
4初回治療終了後	141
8その他	*
計	1,897



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

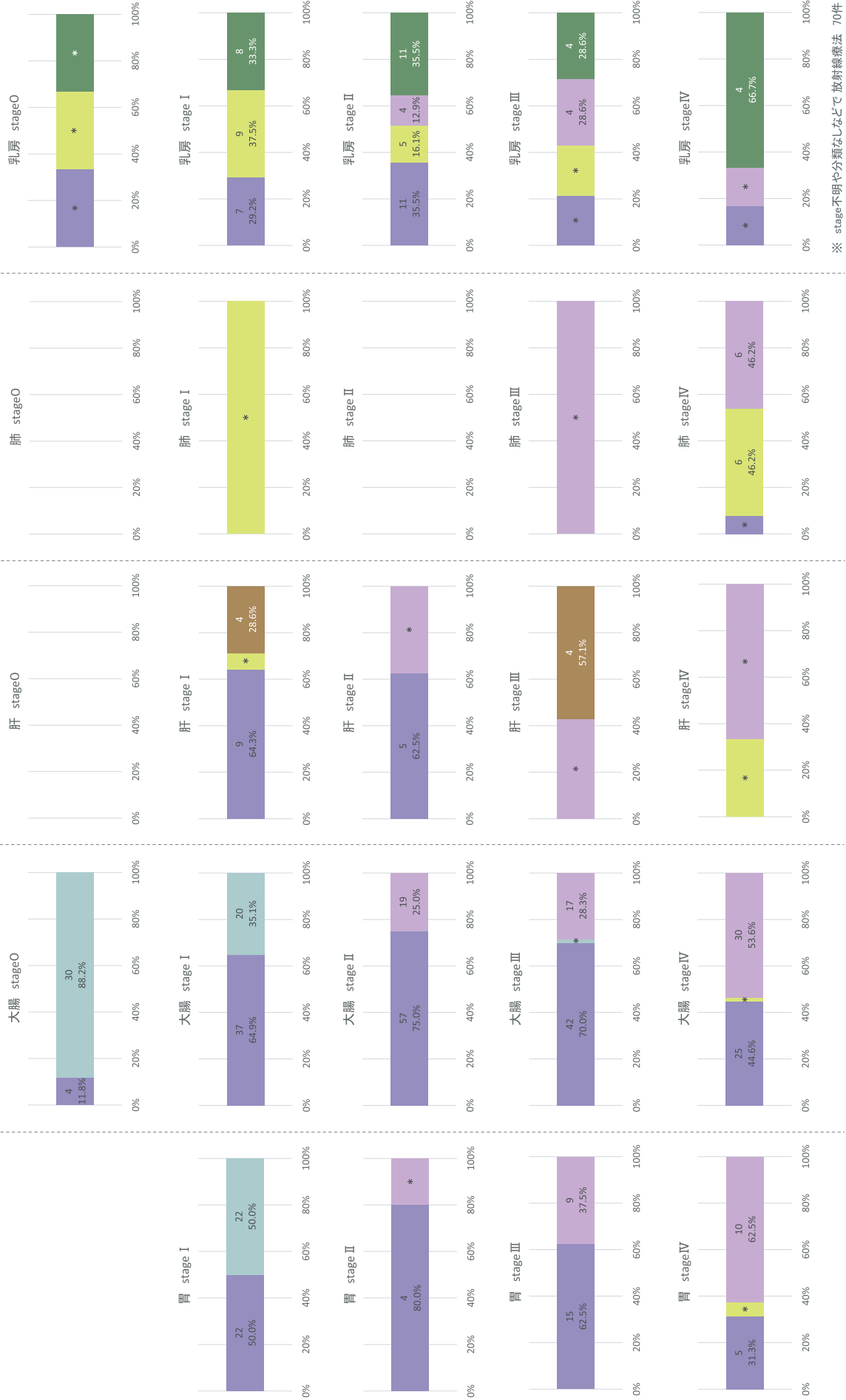
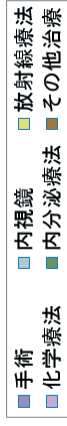
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭	8	*	5	6			*	21	100.0%	0.0%	0.0%
食道	4	12	*	5			4	27	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	46	22	*	20			8	97	92.4%	7.6%	0.0%
大腸★	167	51	*	68			20	308	91.1%	8.4%	0.5%
肝★	14		*	8		8	11	43	92.9%	0.0%	7.1%
膵	11		*	25			20	57	72.7%	27.3%	0.0%
肺★	*		7	8			12	28	0.0%	100.0%	0.0%
皮膚	61		*			*	*	66	96.7%	1.6%	1.6%
乳房★	24		89	9	33		*	156	91.7%	8.3%	0.0%
子宮頸部	57		50	35		4	*	147	96.4%	0.0%	3.6%
子宮体部	64		*	27			*	93	87.5%	12.5%	0.0%
前立腺	*		72		140		*	217	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	6	112		17		27		162	45.5%	54.5%	0.0%
脳脊髄	*						9	11	50.0%	50.0%	0.0%
甲状腺	10						*	11	70.0%	30.0%	0.0%
悪性血液疾患	8		33	175	6		74	296	37.5%	50.0%	12.5%
計	485	198	266	403	179	41	168	1,740			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 分類はUIC8版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は一部のみ掲載
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



※ stage不明や分類なしなどで放射線療法 70件

II 施設別統計

熊本医療センター